

2013 年度若手研究助成

児童自立支援施設入所児童の社会文化的な 変遷と支援の効果に関する実証的研究

研究者 大原 天青 (会津大学短期大学部)

➤ 研究の概要 (助成開始時)

本研究の目的は、非行化した少年が入所する児童自立支援施設 (旧教護院) 入所児童を対象として、入所前の特徴・入所後の状態像 (入所時点および退所時点)・退所後の予後を実証的に明らかにすることである。

具体的には、①施設入所に伴う子どもの変化および予後、②過去 50 年間の社会文化的な変遷に伴う子どもの変化および予後という、個人と社会の 2 つの視点および時間軸から捉えようとするものである。

1 つ目の視点からは、児童自立支援施設における非行化した少年に対する支援やそれによる効果を実証的に示すことができる。

2 つ目の視点からは、我が国の社会文化的な変遷と児童自立支援施設入所児童の変遷を対応させ、時代による特徴を明らかにすることができる。

研究デザインは、児童自立支援施設に入所した子どもの児童記録および入所期間中の児童日誌を過去 50 年間遡ってデータ化するという遡及的手法を用いる。分析方法は、量的・質的分析手法を組み合わせたミックス法を用いる。

これらによって、個人の変化と社会の変化及びその相互作用を踏まえた児童自立支援施設入所児童の社会文化的な変遷と支援の効果に関する実証的成果が期待できる。

➤ 選考委員会からのコメント

精力的な調査研究である。研究計画は 3 つあるが、まずは第一の計画である過去 60 年間の 1000 ケースの分析を期待する。これだけでも一論文となりうる。第二、第三の調査は出来る範囲で期間内に完遂させることを期待する。